

PEACE HIRAKATA



2026年度 LOMスローガン

『PRIDE in ACTION』

～変わったのではなく、変えたと誇れる未来～



枚方市長

伏見 隆氏



一般社団法人枚方青年会議所
第66代 理事長

井上 杜宏



北大阪商工会議所 会頭

佐々木 啓益氏

新春対談

(P2-P3市長対談、P4-P5会頭対談)



Junior Chamber International Japan
一般社団法人枚方青年会議所

JCI HIRAKATA PRESS
2026.1 vol.66

新春対談

一般社団法人枚方青年会議所 第66代理事長

井上 杜宏

×

枚方市長

伏見 隆氏



「2026年度LOMスローガンについて」

理事長…一般社団法人枚方青年会議所は、2026年度『PRIDE in ACTION』へ変わったのではなく、変えたと誇れる未来へをスローガンに掲げ、邁進してまいります。

変わることを願うだけでは、何も変わらない。私たちが変える。その意志が、誇れる未来を創る第一歩となります。誇りある行動から、「変わったのではなく、変えた」と誇れる人生を。を指針として尽力してまいります。そこで、市長の枚方市に対する「誇り」をお話いただけますと幸いです。

市長…日本書紀や播磨国風土記、伊勢物語など多くの文書に枚方や天の川の名称が出るほか、皇族の別荘が建てられたり、江戸時代には交通の要所として栄えるなど、古代からこの地に人が住み、文化を形成し、受け継がれてきました。そうした歴史・文化がある街が、現在、このように発展し、住み心地のいい街であるということに誇りに感じています。また、市民の皆さんが地域のためにお祭りや防災訓練、子どもたちの見守り活動など積極的に活動してくださり、どこにも負けない住みやすい街になっていると思います。

理事長…そうですね。私たちの地域貢献に繋がる活動も、より多くの市民の皆様に参加していくことで枚方市の魅力が一人でも多くの方に共感をいただけるように、枚方青年会議所の広報活動も今年は力をいれていこうと思っています。

市長…多くの方に枚方の良さを知ってもらい、市民の方に誇りに思ってもらえるよう市としても



取り組んでいきたいと考えています。

理事長…そうですね。枚方の歴史・文化、そして市民の皆様が地域への想いこそが、枚方の大きな魅力だと感じております。私たち青年会議所としても、地域貢献に繋がる活動をより多くの市民の皆様にお届けし、市民の皆様が枚方に誇りをもてるまちづくりに、貢献してまいります。

「選ばれるまちであるために(地域活性化のVisionについて)」

理事長…枚方青年会議所として、私たちは「同じ志を持つ青年経済人の集まり」という特性を活かし、行政・民間団体・地域企業との強いつながりを基盤に、地域課題の解決に取り組んでおります。

その中でも、今私たちが注目しているのが「ふるさと納税」です。枚方市は都市と地方の中間に位置するため、魅力の打ち出し方が難しく返礼品の開発やPRに課題があります。だからこそ我々青年会議所が持つ実行力を活かし、地元事業者との連携や行政との協働を通じて、課題解決に取り組むことができると考えています。

実際、2021年には『持続可能なまち創造事業』が日本青年会議所のアワードを受賞し、全国運動として展開されました。この実績を踏まえ、ふるさと納税の分野でも枚方発のモデルケースを創出し、全国の青年会議所へ展開していくことを目指しています。

ふるさと納税を通じた地域活性化について、どのような課題意識や可能性をお持ちか、お聞かせいただければと思います。

市長…ふるさと納税は、自分が応援したい地方自治体に寄付をすることができる制度です。

枚方市としては関係人口を増やしていくことで、多くの方に枚方市を応援してもらいたいと考えています。例えば、単身赴任の方や大学生の皆さんが枚方に来

てくれることは、関係人口を増やす大きなチャンスです。いかに枚方市で良い思い出を作ってもらい、「また戻ってきたい」「応援したい」と思ってもらえるかがポイントになります。その意味でも、枚方青年会議所が市外の青年会議所と交流を深めることは、関係人口の増大につながるものであり、市としてもありがたいと感じています。



理事長…私たち枚方青年会議所は、北河内地域の青年会議所をはじめ、友好JCである中村青年会議所や、姉妹JCである台湾の彰化國際青年商會とは、長年にわたり良好な関係を築いてまいりました。こうした市外の皆様との交流の中で、枚方のまちの魅力や文化・歴史を知っていただけるよう努めております。今後もうつした取り組みを通じて、枚方の関係人口の創出にも影響を与える存在でありたいと考えております。

市長…ふるさと納税の返礼品については、今年新たに「水都くらわんか花火大会観覧チケット」のほか、バターやポン酢といった身近な食品も追加しました。また、男子バレーボールクラブ大阪ブルテオンに協力いただき、選手が放つスパイクをレシーブする体験型の返礼品も引き続き実施します。話題性のあるものや継続して人気の品となるようなものを揃えるなど、今後も魅力的な返礼品の充実に取り組んでいきたいと考えています。

ふるさと納税は地域活性化に大きく貢献できる制度だと考えていますので、ぜひ、皆さんにも、魅力ある返礼品の開拓に向けたアイデアや市内事業者との連携などに協力いただきたいと思います。

理事長…本年度、私たちが挑戦する地域活性化事業には枚方市のふるさと納税に携わっていただける企業と

連携し、枚方市の発展に繋がるよう邁進していきます。それが、まずは市民の皆様にも、そして市外・全国に繋がっていくきっかけになれるよう、運動を展開していきたいと思っています。

【2026年度の取り組みについて】

理事長…枚方市として2026年に進める大きなことはなにかありますか。

また青年会議所として何かできることを探しており、何か我々にできることはありますか。

市長…枚方市としては、4年単位で事業を行っており、現在の最重点施策として位置づけているのが、「市駅周辺の再整備」と「出産・子育てがしやすいまちづくり」です。どちらも市民の暮らしの質を高め、持続可能なまちづくりにつながる重要な取り組みと考えています。

また、大阪・関西万博を契機として、国内外から本市への誘客促進や地域経済の活性化、まちへの愛着向上をめざす本市独自の取り組み「ひらかた万博」をこれまで推進してきました。

市民、地域、事業者など各主体が実施する、地域の魅力向上や文化の普及に取り組む活動に対して、引き続き、行政として支援を続けていきたいと考えています。社会情勢が急速に変化する時代において、皆様がつ圧倒的な行動力は大きな強みであると考えています。これからも、時代の流れに対しスピード感を持って行動され、ニーズに即した新たな価値を生み出すことで、地域の発展にご貢献いただけることを期待しています。

理事長…ありがとうございます。私たち青年会議所は毎年推進する事業は変化していきますが、この地域貢献は私たちの永遠のテーマであり、より良いまちづくりの貢献の一助となり、その活動が私たちの誇りにも変わっていくと信じて邁進していきます。

【最後に】

理事長…最後に市長から、青年会議所にもとめることなどあれば、お願いします。

市長…これまでのように、青年会議所の使命として取り組まれている地域社会への奉仕を通じて、地域がより一層活性化していくことを願っています。

また、情熱ある若者として今後の活躍にも期待をしています。枚方市がさらに住みやすいまちになるよう取り組んでいただけると大変ありがたいですが、皆さんが元気に活動し、積極的に情報発信をするだけでも、市の魅力向上に大きく貢献すると考えています。

皆さんの中には、経営者も多く、ニーズをいち早く感じ取る力に長けている方がたくさんいらっしゃると思います。そうした経営の視点も活かしながら、さまざまな形で市のために行動いただければ幸いです。

本市としましても、今後も、市民の皆様が置かれている状況に目を向け、市政に対する様々な声にしっかりと耳を傾けながら、それぞれの立場に寄り添い行動していく姿勢を大切に、私も含め職員全員で市政運営に取り組んでまいります。

理事長…本日は貴重なお時間ありがとうございました。大きな刺激と勇気をいただき、この経験をメンバーにもしっかりと共有させていただきます。

全身全霊で活動に取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。誠に、ありがとうございます。



取材・記事・写真…大島 充・桑田啓祐・山口達也

新春対談

一般社団法人枚方青年会議所 第66代理事長

井上 杜宏

×

北大阪商工会議所 会頭

佐々木 啓益氏



「2026年度LOMスローガンについて」

理事長…本日はPEACE対談取材を受けてくださり、ありがとうございます。我々枚方青年会議所の2026年度のスローガンは「PRIDE in ACTION」へ変わったのではなく、変えたと誇れる未来へ」を掲げております。今日は会頭に枚方市や商工会議所に対する「誇り」をお話いただけますと幸いです。

会頭…そうですね。伝統とかそういうこともあるでしょうけど、やっぱり住みたい街というのが一番誇れるところですね。枚方市は大阪市内に行くには非常に便利ですし、京都市内に行くのも30分とかだったら行ける。京都と大阪の中間地点で開けた街ですし、アクセスがやっぱりいいですね。

理事長…利便性が高いところは凄く誇れますよね。環境も良いですね。

会頭…住環境、教育環境がいいですね。そして病院や福祉施設が非常に多いですね。関西医大もありますし、市民病院も建て替わりましたね。

理事長…医療環境が整っているのも魅力的ですよ。

会頭…ただ、あくまで誇りというのは、自分で評価するものではなくて、人から評価されて初めて誇りになると思います。

例えば、枚方市は緑多くてこんないい街ですよ！とか、花火大会もあっていいですよ！って言ってそれが人から評価されたら、人も集まってきて枚方に住みたいな！と思っただけですよ。

理事長…そのための仕掛けというのは、我々枚方青年会議所が頑張っていくべきですよ。

会頭…そうですね。商工会議所も一緒に頑張っていきたいと思います。人から認められて初めて「誇り」が生まれますからね。

理事長…人から評価されて、人が集まり、そして枚方市民みんなが誇れる街にしていきたいですね。

「選ばれるまちであるために(地域活性化のVisionについて)」

理事長…枚方のまちの魅力を発信する手段としての「ふるさと納税」など、地域活性化についてどのような課題認識をもち、可能性を感じていますか？

会頭…「ふるさと納税」は、その名のとおり、生まれ故郷やお世話になったまちに恩返しをしたり、応援したい地域の力になる制度としてスタートしましたからね。理事長…そうですね。

会頭…しかしながら、今では少ない自己負担で返礼品が受け取れ、税の控除まで受けられるお得な制度と考えられていますし、返礼品目的で納税先が選ばれるケースも少なくないです。こうした課題はあるものの、別の側面では、自分たちのまちの魅力や特産品を全国に発信する機会となっているのも事実です。

理事長…そうですね。だからこそ、返礼品以外の地域の魅力や人の魅力をふるさと納税の新たな定義に据えて発信に力を入れることで改革していきたいと私たちは思っています。

会頭…枚方市はベツドタウンとして発展してきましたが、ポテンシャルは高いまちで、魅力ある資源はたくさんあります。従来型の遊園地が姿を消す中で、様々



なアイデアで年間130万人を集客し健在ぶりを示すひらかたパーク、T-SITE、地元京阪電鉄による2つの大規模ショッピングモールに、一昨年には待望の都市型ホテルも誕生しましたからね。

理事長…凄いスピード感で枚方市が活性化されていますよね。

会頭…そうです。枚方信用金庫様が力を注いでいる淀川の舟運に、東海道57次枚方宿では月1回の五六市がすっかり定着していますし、宮之阪駅近くには大阪城とともに府内に2つしかない国の特別史跡の百済寺跡がある。東部の穂谷は日本の里山百選に選ばれて、地産地消をめざした都市農業を守る取り組みが行われています。産業分野での特色は、市内に7つの企業団地があり、オンリーワンの技術や世界シェアを誇る企業も少なくないです。こうしたものづくり製品はふるさと納税返礼品としても支持されていますね。少子高齢化、人口減少社会にあって、雇用や住環境、子育て教育環境などまちの魅力を発言して、働き世代に定住してもらい、立地を活かしてインバウンドも含めた観光客を呼び込むことは重要かなと思います。枚方は京都、大阪の中間点という好立地で、様々な資源もありますので。

理事長…そうですね。

だからこそ行政と経済界、奉仕団体、市民が連携して、これらを磨き、繋いで魅力ある形で発信できるかどうかにかかっており、この点については連携を深めていきたいですね。



【2026年度の取り組みについて】

理事長…2025年度は、大阪・関西万博が成功裏に終わり、北大阪商工会議所様においても新会館の工事が着手されたとお聞きしております。枚方の未来を創っていく我々にとって、今後、更なる強固な関係性を発展させていくために必要なこと、そして、行動すべきこと等について、お考えをお聞かせいただければ幸いです。

会頭…半世紀ぶりの地元大阪開催となった万博では、枚方から万博企業を出したいと念願してきた結果、大企業とのコラボで施設整備にかかわったり、ソフト分野を手掛けたりして、幾つかの地元企業が万博に携わることができました。

また、商工会議所では枚方市から委託を受け、大阪ウィークという府内市町村発信イベントに参画しました。3年前から取り組んでいるオープンファクトリーのノウハウを活かし、ものづくり体験ブースを出展しまして、食のブースでは事業者が連携し、枚方宿のおもてなし文化の再現や地産地消の持続可能な都市農業に繋がる食をテーマに商品を企画発信して、ともに大きな反響がありました。

理事長…それは本当に枚方のPRに成功した形ですね。

会頭…また、商工会議所では、昨秋念願の新会館の建設事業に着手しました。完成は来年の令和9年3月予定で、交野にある情報センターを統合し、ワンストップサービスで情報化も含めたトータル的な事業者のサポートをめざしたい。新会館は様々な情報発信とともに、同業種、異業種も含め幅広い交流の場として機能させたいと考えています。また、産業面だけではなく、行政等とも連携して、まちづくりや新名神高速道路スマートインターの働きかけなど交通インフラ整備などにも関わって貢献していきたいです。

理事長…枚方青年会議所は地域奉仕団体ではあるが、メンバーは青年経済人でもある。これまで以上に意見交換して連携を深め、まちの課題解決や活性化、魅力発信に一緒になって取り組みたいですね。

【最後に】

理事長…社会情勢が目まぐるしく変化する中で、私たちは青年経済人として、明るい豊かな社会の実現に向けて志を高く、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりをもち行動することこそが地域に必要なリーダーだと考えております。今後も、私たちにしかできないことを常に考え、英知と勇気と情熱を持って、挑戦をし続けたいです。行動を起こし、挑戦する青年経済人へ一言だけ言わせて幸いです。

会頭…枚方青年会議所というと全国有数の会員数を誇る活発な青年奉仕団体というイメージが強い。

商工会議所にもOB・OGが多く、活動の原動力になっている。村田、松本、大東副会頭もOBで、松本副会頭は日本青年会議所会頭も経験されている。若さは枚方青年会議所の特権ですし、豊かな発想とアイデア、そして他が真似できないフットワークで今年も枚方のため、より一層の奮闘を期待しています。



取材・記事・写真…大島 充・桑田啓祐・山口達也

新春ご挨拶



一般社団法人枚方青年会議所
第66代理事長

井上杜宏

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、枚方市行政の皆様、北大阪商工会議所をはじめとする各種団体の皆様、そして私たちが現役メンバーが深く敬愛いたします枚方青年会議所シニアクラブ先輩諸兄におかれましては、枚方青年会議所の事業並びに運動に対し、温かいご理解とご支援を賜りましたこと、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

2026年度、私たちは「PRIDE in ACTION」変わったのではなく、変えたと言われる未来へをスローガンとして掲げました。この言葉には、ただ変化を受け入れるのではなく、自らが行動の主役となり、未来を切り拓く青年であるという強い決意が込められています。行動のひとつひとつに誇りを持ち、地域の未来に責任をもつ姿勢こそ、青年会議所の本質であります。

本年度、私たちは「PRIDE in ACTION」を胸に、JC運動の価値をさらに高め、メンバー一人ひとりが誇りをもって行動できる組織づくりを推し進めてまいりました。青年会議所が創立から今日まで発展してきた背景には、人が根源的に求める「承認」の力があります。戦後の混乱期、数ある団体の中でJCが世界から認められる民間団体へと成長できたのは、全国の先輩諸氏が地域に認められ、仲間にも認められ、自らの運動が社会を前進させているという確かな誇りを原動力に行動し続けたからに他なりません。

現在の枚方青年会議所には多くの課題があります。しかし、それらを根本から細く解けば、その多くは「認知度」に起因していると考えます。人の目があつてこそ行動は磨かれ、より正しく、より優しく、より格好よくなります。活動が称賛され、承認されるのが、青年の成長を加速させ、未来の地域を牽引するリーダーとしての自覚とプライドを形づくるのです。その積み重ねが、組織の課題を自然と解決へと導く力へ変わっていくのです。

私たちはJC三信条である「奉仕」「修練」「友情」を決して見失わず、運動の本質を貫きます。この三信条を体現し続ける限り、青年会議所は社会に蔓延するマイナスの課題を一掃し、未来に必要なプラスの価値だけに集中できる力強い団体へと進化できると確信しています。

そして何より、先輩諸氏が築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、今の時代に即した新たな価値を創造し、「変わった」ではなく「変えた」と胸を張れる一年にしていきたいと思います。

本年もどっか変わらぬご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



枚方青年会議所
シニアクラブ代表幹事

内田吉彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2026年度、枚方青年会議所シニアクラブ代表幹事を務めさせていただきます内田吉彦と申します。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

枚方青年会議所シニアクラブは、今までその歴史や伝統、何より魅力的なシニアクラブを継承してまいりました。その諸先輩方に敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。51人目の代表幹事といたしまして、継承していくという重責を感じると同時に、お世話になった諸先輩方、枚方青年会議所への恩返しができる機会だと考え、少しでもお役に立てるよう、感謝の気持ちを伝えてまいりたいと考えております。また、本年度は、幹事会の皆様とともに、日々楽しみ、今までの思い出を大切にしながら、さらに新しい物語を皆様と一緒につくっていきたくと考えております。

現役の皆様へ、今年も素晴らしい一年になりますよう、この言葉を送ります。

「花ひろく、天地いっぱい総がかり」

一輪の花を咲かせるためには、土や太陽や水などの恵み、つまり、みんなの力を合わせて初めて花が開きます。何か一つでも欠けると花は咲くことはありません。一人では難しいことでも、誰一人欠けることなく、各々の役割をしっかりと理解し、力をついに取り組んでいけば、必ず大きな成果に結びつきます。力を合わせる喜びを、助け合えることへの感謝の気持ちを常に持つことが、大事を成すためには大切なことだという意味が込められています。皆様にはこの言葉を想いながら、様々なことに挑戦していきたくと考えております。私たちは、諸先輩方が取り組んでこられたように、これからも温かく見守り続けたいと考えております。

結びに、一般社団法人枚方青年会議所に関わる全ての皆様方のさらなるご活躍、並びに、ご健康、ご多幸を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人枚方青年会議所
直代理事長

林 勇太

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、枚方市行政の皆さま、北大阪商工会議所をはじめとする各種団体の皆さま、そして枚方青年会議所シニアクラブの先輩方に、当会の活動に深いご理解とあたたかいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまのご支援があったからこそ、私たちは地域に根差した活動を粘り強く続けることができました。改めて感謝申し上げます。

2025年度は、スローガン「Strong Bonds ～人と人の繋がりが力となる～」のもと、一人ひとりの出会いを大切に、支え合う仲間と共に「ひとつく」に「まちづくり」の運動を展開してまいりました。日々の活動の中で、地域の方々と向き合い、話を交わし、ともに汗を流すなかで、人と人とのつながりの尊さを改めて実感する日々でした。

私たちの活動は、目に見える成果だけでなく、目に見えない信頼や絆の積み重ねの上に成り立っています。そのひとつひとつのつながりが、地域を支え、地域を動かす大きな力となることを、日々の活動を通じて確信いたしました。

防災事業では、各地の団体や被災された輪島青年会議所の皆さまにもご参加いただきました。地域の方々には、ただ知識を学ぶだけでなく、地震や水害の体験を通じて「いざというときに何をどうすべきか」を体感していただきました。日常生活では想像しきれない災害の厳しさを、実際の体験を通して共有すること。それは、私たちが未来に向けて地域を守るために必要な「備え」と「思いやり」を育む大切な時間でした。

未来を担う子どもたちの育成も、私たちの重要な使命です。社会に出る前に必要な知識や経験を学ぶ場を提供し、多様な人との出会いを通じて成長できる機会を設けました。企業との連携では、単に商品を作るだけでなく、買い手の立場を考え、販売や利益の使い道を子どもたちが試行錯誤しながら考える活動も行いました。その過程で、子どもたちの挑戦する姿や、仲間との絆が育まれる瞬間を目の当たりにし、私たち自身も深い感動と学びを得ることができました。人と人とのつながりが未来を創り、その絆を深めることこそ、明るく豊かな枚方の道につながると信じています。

2026年度も、井上理事長のもと、メンバー一人ひとりと強い絆を結びながら、青年会議所の活動に誇りを持ち、地域や未来の子どもたちのために、心を込めて運動を展開してまいります。皆さまには引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、共に歩む一年となることを心より願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人枚方青年会議所

第66代理事長

井上 杜 宏

株式会社 井上造園 代表取締役



2026年度 LOMスローガン

『PRIDE in ACTION』

～変わったのではなく、変えたと誇れる未来へ～

入会前の私は、知識も人脈も仲間もなく、夢も目標も見失い、孤独と不安の中にいました。しかし、2018年の枚方青年会議所との出会いが、私の人生を大きく変えてくれました。

枚方青年会議所で初めて尊敬できる大人たちに出会い、自分の行動が仲間の役に立ち、地域に影響を与えられるという確かな実感をえました。仲間は私にとっての人生の指標となり、少しずつ『自分の在り方』を定義できるようになりました。

私は、JCは、行動のきっかけや指標を見つけられない現代の若者にとって、自らの可能性を最大限に引き出す唯一無二の場所だと確信しています。

組織がさらに発展するためには、私たちが青年会議所活動にプライドを持ち、その価値を高めることが必要不可欠です。

事業参加率や会員数といった組織の課題の根源は、突き詰めれば青年会議所の認知度にあるでしょう。

人からの『目』や承認があつてこそ、私たちはより正しく、誇りを持って行動でき、それが組織の発展、ひいては社会の発展に繋がります。青年会議所の三信条である、「奉仕」「修練」「友情」を忘れることなく、運動を続けることで、必ず明るく豊かな社会の創造に貢献できると信じています。

「誇り」とは、結果だけに宿るものではなく、見えないところで積み上げた努力、仲間と支え合いながら挑んだ経験、そして自分自身の限界に立ち向かいながら歩んだ日々、そのすべての行動の積み重ねにこそ、真の誇りがあるのです。

行動を誇りに変換し、その誇りを新たな行動へとつなげ、私たちはその一步一步に責任をもち、地域のため、そして次代を担う青年のために、確かな軌跡を残していきます。変わることを願うだけでは、何も変わらない。

私たちが変える。

その意志が、誇れる未来を創る第一歩となります。

誇りある行動から、「変わったのではなく、変えた」と誇れる人生を。



本年もよろしく願いいたします。

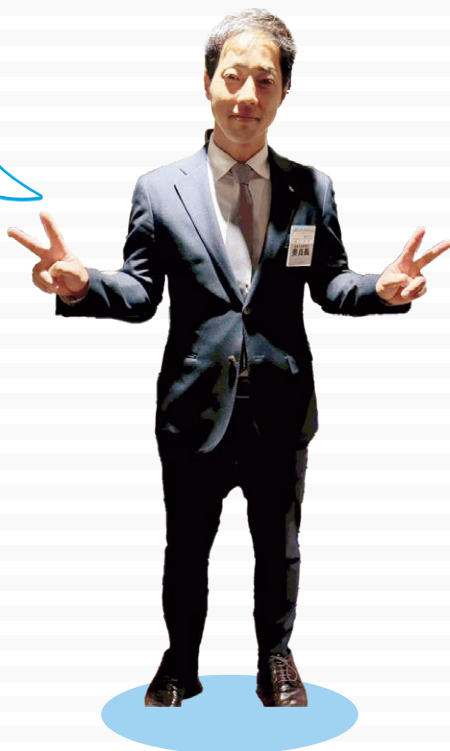
委員会紹介



会員交流委員会

メンバー同士の交流の機会を創出し、絆を強くして、枚方JCを活性化させていく事業に取り組んでいきます！

谷口委員長



拡大委員会

メンバー一人ひとりが拡大運動を全体事業として意欲的に推進し、枚方JCを次世代へと繋ぐ拡大運動を力強く先導します！！

辻委員長



国内渉外交流委員会

先輩諸氏が紡いできた中村JCとの友好関係をより強固にし、交流の魅力、素晴らしさを沢山の人の伝えていけるようにがんばります！

宮田委員長



枚方にぎわい委員会

初代枚方にぎわい委員会の委員長として、枚方のまち全体と枚方青年会議所に圧倒的な『にぎわい』を創出します！！

西本委員長



ICTサポート

代表 日吉田義弘

〒573-1105

大阪府枚方市南楠葉2丁目2-3

Tel:072-851-1111 Fax:072-851-1100

E-Mail:ganbaru.happy.sp@gmail.com



株式会社橘電気工事

TACHIBANA DENKI KOJI Co., Ltd

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町4-23-19

TEL 072-850-4070 / FAX 072-850-4056

建築設計・土木設計

DAIKI

代表取締役 濱田大輝

〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2

TEL:072-860-2811 / FAX:072-860-2812

mail:d-info@daiki-ltd-co.jp

通信業・OA機器

ICTサポート

代表 日吉田義弘

〒573-1105

大阪府枚方市南楠葉2丁目2-3

Tel:072-851-1111 Fax:072-851-1100

E-Mail:ganbaru.happy.sp@gmail.com



株式会社橘電気工事

TACHIBANA DENKI KOJI Co., Ltd

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町4-23-19

TEL 072-850-4070 / FAX 072-850-4056

2026年度

国際渉外交渉委員会

姉妹JCである彰化JCとの交流事業を通して、言葉の壁を越えた友好関係を次世代へと繋げるように頑張ります！

片桐委員長



広報委員会

枚方JCメンバーが作り上げる事業をより一層、魅力的に発信できるように邁進して参ります！

山口委員長



地域活性化委員会

地域の魅力を未来へ繋ぎ、枚方市をもっと「住みたい・訪れたいまちへ」全力で盛り上げていきます！

北原委員長

総務委員会

枚方JCメンバーが良い事業を実施できるように円滑に会議と設営をしていきます！

山岸委員長



枚方まつり実施委員会

2026年度枚方まつりは、より一層に最高のイベントにしてみせます！

西村委員長



芸能プロダクション

YELLOWCAB®
KYOTO

モデル・俳優・アイドル・ダンサー
京都から世界へ

未来ある人材の発掘・育成

『あなたの夢を叶えます』

Padg GROUP

代表取締役

桑田 啓祐

〒603-8105

京都市北区小山西玄以町1-4

TEL 075-741-6676



株式会社中野重機

〒573-0076

枚方市東香里元町10番55号

072-854-0955



大規模改修工事全般

防水・シーリング工事

代表 中井 規仁

〒615-8123

京都府京都市西京区山路12番地1グランシャリオ303

Tel:080-3821-4644 Fax:075-278-7626

E-Mail:nakaikougyou0422@gmail.com

4月 防災事業 石川県輪島市

2024年1月に発生した能登半島地震の被災地である輪島市へ訪れ、輪島JCメンバーから当時の状況や災害時における、LOMとしての行動などを講演してもらいたくさんの人の思いや、緊急時の対応について多くの学びを深めました。



9月 公開例会 【テーマ】枚方防災フェスタ～みらいへつなぐ、防災のチカラ～

岡本町公園・枚方ビオルネにて枚方防災フェスタを開催しました。枚方市民と枚方JCメンバーの防災意識・知識向上を目指し、行政・各種団体・企業の力を合わせて防災に関するブースや体験型コンテンツを出展し、楽しみながら防災知識を学べる機会を提供しました。



10月 枚方まつり 【テーマ】「輪をもって 楽しもう 枚方まつり」

昨今の時代の変化の中に合わせた枚方まつりを開催する中で、存在の価値を明確にし、地域に受け入れられ続けています。一人ひとりが人と人との繋がりをより一層大切にすることで輪になり、みんなで楽しめて誰もが笑顔になれる枚方まつりになりました。



こども会議 【テーマ】枚方の企業とコラボ商品を作ろう!!メイクビジネス!!

子ども会議では、予定通り多田雅典先生に講演をいただき、参加者の高校生たちに商品開発について学んでいただきました。そして、学んだことを活かして、どのような商品を開発していくかをグループに分かれてディスカッションしていただきました。



コンクリート二次製品据付専門



Construct Eto Co., Ltd

株式会社コンストラクト エトウ

〒573-0015

大阪府枚方市村野東町29-26

Tel: 072-898-8753 Fax: 072-898-8754

Mail: info@c-eto.co.jp



株式会社 辻 電 工

専務取締役 辻 輝 樹

〒614-8066 京都府八幡市大芝60番地2

TEL 075-874-2527 FAX 075-874-2578

E-mail t-tsujidenko@tiara.ocn.ne.jp

建築塗装



宮田建装

宮田 海

〒614-8056

京都府八幡市八幡福祿谷146-53

080-4193-5124

miyatakensou1530@gmail.com

2025年度 事業報告

第一回定時総会



一般社団法人枚方青年会議所としての意思決定を行い、2025年度における方向性のビジョン共有とメンバーの意識を統一し、2025年度最初の全体事業として参加会員の意識の向上ができました。

第48回「新春走ろうかい」



地域活動に参加し、多くの市民とコミュニケーションを図り交流を深めました。

2月度例会



【講師】宮迫 博之氏

【テーマ】

「視野を広げ新たな価値観を創造しよう」

株式会社ノーブルプロモーション

3 J C 合同事業 和幸カントリー倶楽部



枚方・寝屋川・交野の3 LOMの青年会議所と交流しました。

3月度例会



【講師】皇 治氏

【テーマ】

**「互いの絆を深め合い
魅力を語れる人財へ！」**

株式会社TEAM ONE

4月度例会



【講師】黄 皓氏

【テーマ】

「人から人に伝わる広報戦略とは」
～自ら発信する意識をもち、多くの人に価値を届けよう～

株式会社 KK COMPANY

5月度例会



【講師】森下 直哉氏

【テーマ】

**「人との絆で創り出す
交流の未来」**

株式会社THE HIDEAWAY 代表

6月事業 会員交流事業 ～ヒラゲーム～



身体を動かし、チームで協力し合える運動競技会を実施しました。

7月度例会



【講師】仲本 いつ美氏

【テーマ】

**「地域の魅力や伝統を学び
次世代に繋げよう」**

株式会社Endemic Garden H 代表取締役

8月 第二回定時総会



会場：ホテルアゴーラ大阪守口
本年度の運動の途中報告をするとともに、改めて今後の事業の方向性を示し、対外の皆様をおもてなしし、最高の設えをともに実施することで、LOMの一体感を高めました。

10月度例会



【講師】中村 成博氏

【テーマ】

**「仲間と学び、繋がりを力にかけて、
未来を創る当事者として歩み出そう」**

株式会社Gentle 代表取締役

第74回全国大会佐賀大会



会場：SAGAアリーナ
全国から集まった各LOMとの情報交換や全国大会で式典やフォーラムが開催されました。

2026年度 事業予定

姉妹JC・友好JCとの交流

中村JCが70周年を迎える大切な節目となります。中村JCとの交流事業では、四万十市に訪問いたします。シニアクラブの先輩の皆様、現役の皆様、是非一緒に交流しましょう！彰化JCとの交流事業では、本年度大阪の地にお越しいただきます。皆で最高のお出迎えをしましょう！



地域活性化事業への取り組み



地元企業の地域への応援意識を高めるために、行政・企業と協働しふるさと納税制度が抱える課題の整理と解決に向けた企画に取り組み、枚方JCが主体となって地域資源を持続的に循環し続ける仕組みを生み出し地域の発展へとつなげる地域活性化事業を実施します。

枚方まつり 2026

今年もご来場いただける、皆様の記憶に残る最高の枚方まつりを提供します！
たくさんの来場おまちしています。



2026年度 出向者

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 総務・ブランドマネジメント確立委員会 委員長 濱田 大輝

一般社団法人枚方青年会議所 2026年度 出向役員一覧表

*公益社団法人日本青年会議所			
国家グループ	全国大会運営会議	小 幹 事	日吉田義弘
		小 幹 事	吉 永 翔
		委 員	田 代 真 央
		委 員	福 田 博 之
		委 員	毛 利 真 一
国際グループ	国際社会開発会議	委 員	薫 実 穂
組織グループ	リーダー育成委員会	運営幹事	栗 原 芳 季
		委 員	江 頭 采 未
		委 員	河 本 佑 也
*近畿地区協議会			
総務・ブランドマネジメント確立委員会		委 員 長	濱 田 大 輝
		総括幹事	西垣戸俊也
		委 員	岡 林 明 子
		委 員	加 茂 優 人
		委 員	桑 田 啓 祐
		委 員	幸 徳 正 和
		委 員	首 藤 芳 悠
		委 員	菅 原 三 早 妃
		委 員	山 田 江 里 子
シティズンシップ向上委員会		広報幹事	船 井 昭 宏
		委 員	伊 藤 準 記
		委 員	奥 山 遼 大
		委 員	河 野 怜 音
		委 員	川 人 康 輝
事務局		次 長	池 田 玲 実
		委 員	小 畠 和 也
*大阪ブロック協議会			
和の心醸成委員会		副委員長	西嶋吾生男
		小 幹 事	岩 上 了 仁
		委 員	青 山 も も
		委 員	岩 淵 泰 樹
		委 員	川 人 康 輝
		委 員	澤 瀬 萌 香
		委 員	高 田 雅 也
		委 員	中 橋 明 穂
		委 員	邊 本 颯 太
		委 員	山 崎 友 誠
		委 員	山 口 直 也
財政局		副委員長	張 富 文
		委 員	日吉田義弘
		委 員	藤 田 賢 太



Q1. 近畿地区協議会へ委員長として出向することについての意気込み

余田先輩以来の6年振りの地区役員として、出向する機会を与えてくださったことに心から感謝申し上げます。

志ある仲間と共に、新たな価値を創造する一年が始まります。

地域の垣根を越え、切磋琢磨しながら、この地に住まう人々の未来を切り拓く事業を構築していきたいと思えます。

委員長として、メンバー一人ひとりの

情熱を束ね、最高の仲間と共に、挑戦を恐れず、信念を持って前進していきたいと思えます。

そして、最高の学びを枚方青年会議所へ持ち帰りたいと思えます。

Q2. 1年後、自分がどうなっているか想像して教えてください

この一年で、私は大きく成長していると思います。

多様な価値観を持つ仲間たちと向き合い、時に衝突しながらも対話を重ねる中で、真のリーダーシップとは何かを学ぶことが出来ているはずです。

困難な局面でも冷静に判断し、メンバーを信じて任せる力が身につく、近畿各地の課題に取り組み過程で視野は格段に広がり、地域を超えた強固なネットワークが財産となると確信しております。何より、仲間と共に汗を流し、笑い、

涙した経験が、私を一回り大きな人間へと成長し、信頼されるリーダーになって帰ってきます。

Q3. 一緒にいくメンバーに対して一言まずは、一緒に出向してくれることに深く感謝申し上げます。

皆さんと共に近畿地区協議会という舞台で挑戦できることを、心から誇りに思っています。一人では決して成し遂げられない大きな目標も、仲間と力を合わせれば必ず実現できると信じています。

それぞれの個性と強みを存分に発揮しながら、互いに支え合い、高め合いましょう。苦しい時も、楽しい時も、全てが私たちの成長の糧となります。最高の仲間と共に、最高の一年を創り上げましょう。

シャッターの販売/施工/メンテナンス

外構工事/カーポート/エクステリア全般
内装リフォーム/水回り工事一式



株式会社C-NEXT

代表取締役 西本 慧介

〒570-0032 大阪府守口市菊水通2丁目10-1 菊水ビル108号

TEL: 06-6780-9966

FAX: 06-6780-4066

Mail: info@c-next.jp

HP: https://c-next-lp.jp

柔道整復師



かたぎり接骨院

院長 片桐祐太

〒573-1146 枚方市牧野阪2-7-14

072-808-8200

kclab.2023@gmail.com



SEISHIN CONSTRUCTION INDUSTRIES, INC.

誠信建設工業株式会社

〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目20番6号

TEL 072-857-2788 FAX 072-856-2284



株式会社リジョイスホーム

〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目20番6号

TEL 072-857-2123 FAX 072-807-6162



2019年度 LOMスローガン

『すべては未来のために』

～子どもたちのために、
今、行動する。
「私たちのひらかた」の実現に
向けて！～

主な事業実績

- ・GLY育成事業
- ・枚方eスポーツ
オフラインでも仲良くなろう
- ・子ども食堂
- ・租税教室

Q3 理事長をされていた中で思い出に残っている事業を教えてください。

格をつける。つまり、自分たちの暮らすこのまちを愛してほしい。誇りに思ってもらいたい。そのような思いから唱えた言葉になります。だからこそ、子どもたちに向けての活動をすることは、自身の帰属意識やふるさと意識を再認識することができると思い、そのような一年にしようと思いました。我がまちに誇りをもって次世代の子どもたちに向けた事業をこれからも現役メンバーは創って欲しいです。

Q4 最後に、現役メンバーへ一言お願いします。

時代が便利になるとともに、LINEやSNSのやり取りだけで用件を済ませてしまうなどと、直接熱量を伝える機会が少なくなってきましたね。

もちろん、LINEなどの利便性は素晴らしいですし、文章で物事を伝えることは自身の国語力の成長の糧にもなります。それに、相手に理解してもらえるように考えて文章を作成することの背景には、読み手や受け手への配慮や、思いやりという点に熱量が込められていることも一理あります。しかしながら、直接「お前もやるぞー」「みんなでやるぞー」という熱量を伝えていくことが人と人の間で作っていく人間関係の原点です。理事役員やスタッフは、声を掛け合って、意思を確認する場を今後も変わらず創ってほしいです。

そして、何事にも全力で取り組んでください。仕事・家族・JC・プライベート。

自身の生き方を円グラフや割合というモノで測らないでください。全て100%全力。

それこそが、自身の成長となり、疲れや弱音を凌駕していくことになります。

いわゆるスーパーサイヤ人ってやつですね。笑

現役JCメンバーの皆さま！頑張ってください！



Q1 2019年度は120名という会員拡大に成功されました。当時の思いを教えてください。

当時、谷岡委員長が旗振りとして先頭に立ち、他の理事メンバーたちも一生懸命頑張ってくれたおかげで、沢山の褒賞をいただくことができました。

拡大においては、すべての場所で、JCを人に語りかけることを意識しておりました。

まずは、その意識改革の結果として、120名という拡大目標人数を大幅に更新し、沢山の方に思いが伝播できたのだと思います。

そして、拡大運動とは面白いもので、自らJCに参画したいと電話をかけてこられる方もおられましたし、事務局の扉を叩いて入会希望を志高く言って入ってこられた方もおられました。しかしながら、そのような方が長く続くとは限らず、入会したものの、自身が思っていたイメージと違い、やめてしまった方もおられます。

また一方で、仕事の繋がりがから入会した方はある意味半ば強引だと笑いながら入会された方もおられます。ただ、おもしろいことにそんな方が、JC運動の熱量に触れていくことで、長く続くこともありです。JC活動を継続していくきっかけって人によって様々ではありますので、本当に分らないものです。だからこそJCを人に語りかける意識を常に理事メンバー

にはもってもらっておりました。さて、現役メンバーの皆様には、拡大運動をしていく上で、一度参考してみてください。袖ふれあうも多少の縁、一度、自分の人間関係とか会社の取引関係とか一旦全部見返すといいかもしれませんね。ホームページ制作を頼んでいる業者さんや、保険を頼んでおられる業者さんや、普段の生活でガソリンを入れていくところで働かれています方々など。日常の何気ないこと全てを縁とらえていただいて、自分の思いを全部語りかけてみてください。

Q2 2019年に理事長をされた際に掲げたLOMスローガン「すべては未来のために」子どもたちのために、今、行動する。「私たちのひらかた」の実現に向けて」に込めた思いを教えてください。

次の世代のことを真剣に考えることがJCだと感じていました。

私たちが直接関わるこのない世代や、これからの未来ある子どもたちへの投資に対して、「僕たちが起こす事業が持続可能な社会を創る」ということを1年間強く思っておりました。LOMスローガンのサブタイトルにある、この「私たちのひらかた」という部分を記載した意味は、自分の暮らす町に所有

格をつける。つまり、自分たちの暮らすこのまちを愛してほしい。誇りに思ってもらいたい。そのような思いから唱えた言葉になります。だからこそ、子どもたちに向けての活動をすることは、自身の帰属意識やふるさと意識を再認識することができると思い、そのような一年にしようと思いました。我がまちに誇りをもって次世代の子どもたちに向けた事業をこれからも現役メンバーは創って欲しいです。

Q3 理事長をされていた中で思い出に残っている事業を教えてください。

理事長時代の思い出に残っている事業はたくさんあるのですが、強いて言えば二つ挙げさせてもらいます。まず、一つ目が「子ども食堂」です。JCっていうのは単年度制で、子どもたちにとっては1年、2年で終わる活動は意味がないですし、当時も「本当に食に困っている子どもたちが来ていない」という声もあって賛否がわかれた事業でした。

ですが、困っている子どもたちを集めるだけではなくて、窓口を広げ、誰でも来てもらうことで、その中から本当に困っている子どもを見つけるということに着目していました。

子どもは自分で環境を作ることができません。だからこそ、私たちが環境を作って受け皿を作る。そういうきっかけの場を作ること地域を知っていく。その第一歩が大事だと思いましたが、もう一つが「eスポーツ」です。今では、オンライン授業や学校に行かなくても授業を受けられる環境が整っていますが、当時はそうではなかったのです。そうなるべくと、その環境についていくことができずに引きこもりに繋がってしまう子どもたちが出てきており、そういう子どもたちの受け皿を作るといことを目標に当時の松下委員長を筆頭に頑張った環境の創出してくれました。世間では、引きこもっている子どもはゲームばかりしているという子もいるというイメージがあるかもしれませんが、eスポーツという分野があることを知って、好

一般社団法人枚方青年会議所(枚方JC)とは



修練



友情



奉仕

一般社団法人 枚方青年会議所とは

枚方青年会議所(枚方JC)は、1962年(昭和37年)、「常に団結の力により創造者としての勇気と実行力をもって地域社会の発展に貢献する」という趣旨のもと、全国で221番目に設立されました。以降約60年間脈々と歴史を刻みながら、地域特性を活かしたまちづくりや子どもたちの育成、まつりなどの事業を通じて様々な運動を展開しております。枚方JCには約200名のメンバーが在籍しており、各々が会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献しております。

入会案内

一般社団法人枚方青年会議所は、20歳から39歳までの若き経済人を募集しています。人種・国籍・性別・思想の別なくご入会できます。ここでしかできない素晴らしい経験、多くの学び、そして一生の友になるであろう仲間たちがここには居ます。あなたも枚方青年会議所の一員になってみませんか？

まちづくりを通して自己の成長へ
つなげることができる団体です！
是非一緒に活動してみませんか？
皆様の入会をお待ちしております！



PEACE HIRAKATA
vol.66

アンケートに
ご協力ください。



枚方JC
ホームページ



枚方JC
Instagram

一般社団法人枚方青年会議所

2026年度理事役員紹介

<http://hirakata-jc.jp/>

枚方JC

検索 クリック!



理事長
井上杜宏



直前理事長
林 勇太



特別顧問
白石和也



特別顧問
木崎大介



副理事長
廣瀬公彦



副理事長
米田健人



副理事長
榮田翔太郎



副理事長
大島 充



専務理事
山元 孝



室長
江頭采未



室長
桑田啓祐



室長
中井規仁



室長
田代真央



室長
大濱暢祐



室長
岡林明子



委員長
辻 輝樹



委員長
谷口洸太



委員長
北原菜緒



委員長
山口達也



委員長
片桐祐太



委員長
宮田 海



委員長
西本慧介



委員長
西村弘樹



委員長
山岸 翔



監事
濱田大輝



監事
日吉田義弘



枚方JC

検索
クリック!庭園設計・施工・管理
土木工事 伐採・除草工事等株式会社
井上造園

代表取締役 井上 杜宏

〒573-0163 大阪府枚方市長尾元町1-33-67
TEL:072-860-7093 FAX:072-807-8866
mail:inouezouen1013@gmail.comNeXus
Sign maker SIGN・TEXT・SIGNS・LED林 勇太
Yuta Hayashi〒576-0051
大阪府交野市食治7丁目32-3 桜道102
tel:072-896-8832
fax:072-845-6897
mail:nexus.katano@gmail.com
mobile:080-1520-9087

建築・内装軽鉄・内装仕上工事

大阪府建設許可(特-30)第99738号
〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594

焼肉 てつ

厳選された上質な和牛を提供しております!

御予約受付中

〒573-1107 枚方市楠葉中町1-5
TEL:072-894-9366

JOB グループ

(株)ジョブ建設
(株)JOB警備保障
(株)ケイトールLife creation Co.,Ltd.
Money for the future

専務取締役 大島 充

総合金融代理店
(生命保険・損害保険・住宅ローン・資産形成)

〒612-8362

京都府京都市伏見区西大手町307-29
TEL:075-266-9675 FAX:075-366-9676
mail:osimal1990@gmail.com

タイル・石施工販売

有限会社内田タイル

代表取締役 内田 吉彦

〒573-1115

大阪府枚方市東船橋2-36-8

TEL 072-851-5505

mail: uchida.tile@gmail.com

寿司・鮮魚

魚和水産

UOKAZU SUISAN 和

産地直送よってって 枚方北山店舗内

鮮魚は何でもご相談ください!

別注受付中

大阪府枚方市北山1-23-1
TEL 072-855-0357

株式会社 広瀬自動車

板金塗装

代表取締役 廣瀬 公彦
hirose kimihiko

修理

販売

車検

整備

車買取

〒566-0064 大阪府摂津市島飼中3丁目4-41

TEL 072-646-8166

TEL 072-646-8167

TEL 090-5154-5681

てらまち法律事務所

弁護士 榮田 翔太郎

〒604-0992 京都市中央区寺町通夷川上ル
藤木町24-2 藤ビル3FTEL:075-744-0451 FAX:075-744-0452
sakaeda@teramachi-law.jp

総合建築業



株式会社ヤマゲン工務店

YAMAGEN KOUMUTEN

代表取締役 山元 孝

〒573-1155 大阪府枚方市招提南町1-56-6-101
TEL:072-807-4114 FAX:072-807-4124
mail:yamamoto@yamagen-gy.com